

1. 投稿論文は、頭頸部腫瘍に関する原著、症例報告、総説とし、他誌（電子媒体を含む）に掲載された事がなく、また他誌に投稿中あるいは投稿予定のない邦文あるいは英文の論文に限る。

2. 投稿論文の著者は共著者も含め、本学会の会員とする。

3. 投稿論文は、下記の要領にならない原稿作成のこと（A4サイズ使用）。

A. タイトル

和文と英文のタイトル・著者名・所属及び英文抄録（300ワード以内）と同一内容の和文抄録（論文要旨400字以内）を提出すること。

B. キーワード

5語以内（英文ならびに和文抄録の後にそれぞれ明記して下さい）。

C. 論文原稿

a) 文章

原稿の文章はMicrosoft Wordを使用し、標準的なフォントが望ましい。外国人名や和訳しにくい用語のほかは日本語とすること。

b) 図表

図表は原則としてMicrosoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPointを使用して作成するか、JPEG形式、PDF形式、EPS形式、TIFF形式とする。なお図表をこれら以外のソフトで作成する場合、電子媒体として添付する時は上記の形式で保存すること。原則的な解像度の低限値は。写真で350dpi、線描画で600dpiとする。

図表は完全版下となるファイルをアップロードする。なお、不完全原稿でトレース、組版が必要な場合は、著者が費用を負担する。図、表、写真は別紙とし本文中にそれらの挿入場所を本文内に示すこと。

c) 引用文献

引用文献は特別な場合を除き20編以内とし、本文中に引用順に番号を付記し、原稿の末尾に一括して記載する。雑誌の場合は、著者名：標題名、雑誌名 巻、号：頁-頁、発行年度（西暦）とし、単行本の場合は著者名：標題、書籍名（版）、編集者名、発行社名、発行地、発行年度（西暦）、初めの頁-終わりの頁を記すこと（例参照）。なお、著者名は3名までを記載し、それ以上の場合は「他」、「et al」を用いて省略する。欧文誌の略称はIndex-Medicusに準じる。

引用文献の書き方

<原著の場合>

例1. 倉富勇一郎, 瓜生英興, 中島寅彦他: 組織学的評価に重点をおいた頭頸部癌のチーム医療 頭頸部癌 30 (3) : 395-400, 2004

例 2. Katori H., Tsukuda M., Mochimatu I., et al: Phase I trial of concurrent chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin and 5-fluorouracil (TPF) in patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck (SCCHN) . Br. J. Cancer 90: 348-352, 2004

<単行本の場合>

例 1. 吉原俊雄：多形腺腫摘出術 イラスト手術手技のコツ，飯沼寿孝，木田亮紀，小林俊光，久 育男，森山 寛編，耳鼻咽喉科・頭頸部外科，東京医学社，東京，2005，pp219-221.

例 2. Horsman M.R., Overgaard J.: The oxygen effect and tumour microenvironment, Steel G.G., editor. (複数の場合は eds.) Basic clinical radiology, Arnold, London, 2002, pp158-168.

d) その他

原稿の第一頁に題名，著者名，所属および別刷請求先を付記し，著者名には平仮名で振り仮名をつける。本文の第一頁を 1 ページとし，本文の全てにページ番号を記すこと。

D. 個人が識別され得る症例の提示に際しては，執筆内容に関して，著者が患者のプライバシー保護の観点から十分な注意を払い，且つ責任を負うものとする。

(追記) 次ページに詳細を掲載。

E. 投稿論文は，その内容の倫理性に十分な配慮がされたものであることとする。人体についてはヘルシンキ宣言を遵守するとともに，内容に応じてインフォームド・コンセントを明記する。実験動物については，動物の保護および管理に関する規定を満たすこと。当該研究が各施設内の倫理委員会の承認のもとに行われたことを明記する。

F. 著者は投稿時に学会誌での利益相反自己申告書（学会ホームページ <http://www.jshnc.umin.ne.jp/coi.html> を参照）をシステム上にアップロードし，利益相反状態を明らかにする。

以上の原稿データを，原稿を作成した OS 名 (Windows, Macintosh 等およびそのバージョン) と使用ワープロソフト名 (Microsoft Word 等およびそのバージョン) を明記すること。投稿方法は電子投稿に限り，頭頸部癌オンライン投稿・査読システム

<https://mc.manuscriptcentral.com/jshnc> にアクセスし，必要事項を入力の上，表示される指示に従って投稿すること。

4. 著者校正は初校・再校の 2 回とする。原稿および図表などを大幅に校正時に変更することは認められない。

5. 掲載費用

A. 原稿は一題ごとに刷り上がりが 5 頁以内を標準とする。(本文 5 頁は 400 字詰原稿用紙 20 枚に当たる。図，表，写真等は 1 枚につき 400 字として計算する)。印刷制作費は 5 頁までを学会が負担するが，超過分は著者負担とする。なおカラー図 (写真を含む) の印刷費は著者負担とする。

B. 別刷は 30 部を単位とし，30 部まで無料それ以上は著者の実費負担とする。

- C. 急載の場合は印刷費の全額と急載料（印刷費の 20%）を著者負担とする。
- D. 印刷制作費は 5 頁までを学会が負担するが、超過分は著者負担とする。なおカラー図（写真を含む）の印刷費は著者負担とする。
6. 会誌 1 号は、学術講演会における発表の推薦原稿を主とし、これに一般投稿原稿を加える。
- ・会誌 2 号は、学術講演会抄録号とする。
  - ・会誌 3 号は、学術講演会の特別企画および教育セミナーからの投稿原稿を主とし、これに一般投稿原稿を加える。
  - ・会誌 4 号は、学術講演会における発表の推薦原稿を主とし、これに一般投稿原稿を加える。
7. 原稿掲載の可否は編集委員会によって決定する。査読は編集委員会が依頼した査読者によって行われる。
8. 著作権について：本誌に掲載された論文の著作権は日本頭頸部癌学会に帰属し、その全部または一部を無断で他誌へ掲載してはならない。また、本誌への投稿に際し、既発表の図（写真を含む）、表、その他を引用転載する場合は、必ず出典を明示すること。万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合は、著者がその責を負うものとする。
9. 二次出版について：外国雑誌への二次出版、あるいは外国雑誌からの二次出版については、International Committee of Medical Journal Editors の規定 (<http://www.icmje.org/>) に則り、日本頭頸部癌学会はこれを認める。ただし双方の雑誌の編集委員会から承認を得、二次出版論文のタイトルページの脚注には、一次出版論文の掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年、表題、およびその論文の二次出版であることを明記すること。

10. 問い合わせ：

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11  
一ツ橋印刷（株）学会事務センター内  
日本頭頸部癌学会編集委員会  
TEL 03-5620-1953 FAX 03-5620-1960  
Email [jshnc-service@onebridge.co.jp](mailto:jshnc-service@onebridge.co.jp)

付記：この投稿規定は平成 29 年 1 月 23 日より実施する。